



元気っ子

No 309 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

遅くなりましたが、令和4年度の生活発表会のDVDが納品されました。在園の子どもたちにはすでにお配りさせていただきましたが、卒園児の方はご都合に合わせて保育園に取りに来て頂いています。たった一ヶ月会わなかっただけで、すごくお兄ちゃん、お姉ちゃんらしくなった姿を見せてくれて、とても嬉しく、そして頼もしく感じています。どうぞDVD鑑賞で家族団らんのひと時をお過ごし頂ければ幸いです。

今年はG7広島サミットにおける関係閣僚会合のうちの教育大臣会合が富山県で開催されます。この会合で議論される内容は、保育・教育関係者は特に注視しておく必要があります。なぜなら、これから日本社会はもとより世界が向かうべき教育の方向性が示されるからです。当然、私たちが携わっている保育も同じ方向性をもって進めていかないとはいけません。保育の環境を見直したりする際はこの方向性と整合性を必ず確認するようにしています。また、この教育大臣会合には先進7か国以外にユネスコ、OECD（経済協力開発機構）も参加します。これらの組織の動向や発信内容にも注視が必要です。

また、国が推進する総合科学技術イノベーション会議（内閣府）における「[Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ](#)」については、保育・教育にかかる国内の施策や方向性等に直接的に関わりますので、特に意識しておく必要があります。この政策パッケージには学校教育についての記載が多くありますが、いずれ学校教育がこの改革の実現に向けて舵を切っていきます。すでに舵を切っている学校もいくつかありますが、中でも元・千代田区立麴町中学校長（現・横浜創英中学高校長）の工藤勇一先生は、いち早く教育や社会が抱える課題に対して向き合い、実績を残されています。G7教育大臣会合に先んじて行われたシンポジウムでは工藤勇一先生の講演も行われました。（工藤勇一先生の講演等はYouTube等の動画サイトでも視聴できますので、是非ご覧下さい。）

このSociety5.0の実現は超少子高齢化社会において、教育・人材育成システムの抜本的な転換が急務とされています。とはいえ、大人は自分達が受けてきた教育に対する価値観や成功体験を捨てて、新たな価値観を信じることは簡単なことではありません。そのことは国も十分理解しています。ですので、教育・人材育成ワーキンググループはこの政策パッケージ資料の最後に「保護者・国民の皆様に向けて」としてこのようなメッセージを送っています。（保育・教育に携わる方には別のメッセージがありますので資料63ページをご参照下さい）

《これらの施策は、大人の頭のなかにあるかつて自分が受けてきた教育とは異なるため、それが一つ一つ実現されていくにつれ、不安や違和感が生じるかも知れません。例えば、歴史の学び一つとっても、一方的な事実を教えるものから、「なぜ源頼朝は鎌倉に幕府を開いたのか」ということを自分事として考え、歴史を因果関係で捉えるというような次代を切り拓く力を育むことが求められています。新たな学びに挑戦する、学校や子供たちへのご理解・ご協力をよろしく願います。》